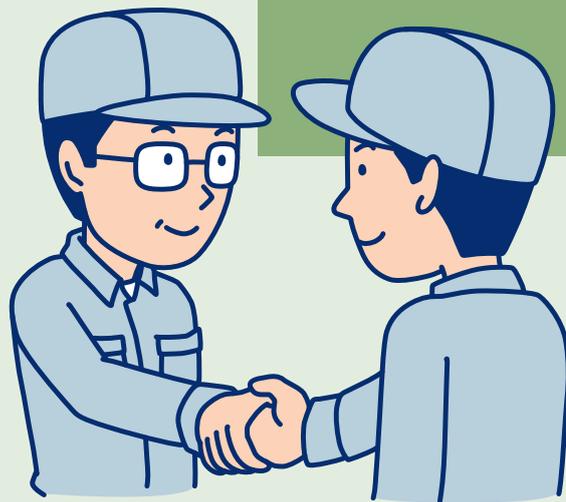


# 第1章 社会人の 基礎

1. 社会人とは
2. 社会人としてのマナー
3. 社会人として守るべきルール
4. 組織・集団
5. 健康管理
6. 仕事の学びかた



# 1

## 社会人とは

### 1 社会人としての心構え

社会（企業）の一員として働き始めると、上司、先輩、同僚、取引先など、多くの人と関わるようになります。社会人としての心構え、責任、役割を理解して仕事をすることは働くうえでの基礎になります。これらをしっかりと身につけましょう。

### 信頼を得るための4つの心構え

#### 1 時間を守る

出勤や休憩、アポイントメント、納期など、時間を守ることは仕事において必須事項です。

#### 2 丁寧な言葉遣いとコミュニケーション

どのような場面でも相手に敬意を持って丁寧に話し、さまざまな人とコミュニケーションを取ることが大切です。

#### 3 身だしなみを整える

製造業においては、相手を不快にさせないだけでなく、安全や衛生の面でも身だしなみを整えることが大切です。

#### 4 ルールを守る

会社には就業規則などのルールがあります。ルールを守ることで、規律を乱さず快適に働けるように心がけましょう。

社会人として仕事をするうえでは、周囲から「信頼」を得ることが重要です。信頼を得るためにも上記の4点を心がけましょう。



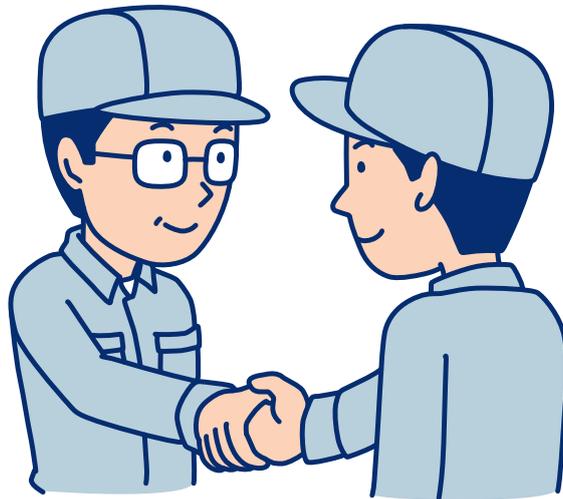
## 2 社会人としての役割

社会人としての職務では、多岐にわたる役割が期待されます。前述の「社会人としての心構え」を実践することが根幹となりますが、それを踏まえて、会社や上司があなたに期待する具体的な役割を理解しましょう。

### 社会人として期待される役割の例

- 1 周囲と協力して成果を上げる
- 2 時間内に定型業務を確実に行う
- 3 会社の方針などを確認して業務を行う

期待される役割は時代や状況で変化します。周囲とコミュニケーションを取りながら、期待される役割の変化を常に確認しましょう。また、自身で役割を常に意識し、仕事に取り組むことも重要です。



# 1 社会人とは

## 3 仕事の考えかた

仕事は、会社がお客様に対価をいただき、その対価の一部を従業員が賃金として受け取ることで成り立っています。「対価をいただくこと」は、会社にも、従業員にも「仕事に対する責任」が生じることを意味します。つまり仕事においては、これまで説明してきた社会人の心構えや、役割の重要性を認識したうえで、仕事の責任を果たすことが必要になります。

また、従業員は業務を遂行し成果を出すことで、社会人としての評価が高まります。さらに、そのような人材が集う会社の価値も向上していきます。



近年は「ワークライフバランス」も注目されています。ワークライフバランスは仕事とプライベートのバランスを取って充実させることが目的です。どちらかを優先させるのではなく、仕事とプライベートの両方の充実を目指すものです。もちろん、仕事の手を抜くことでもありませんので、その点は注意が必要です。

社会人として「仕事」を行うことの意味や、仕事への責任感について考えてみましょう。



まとめ・考えてみよう

# 社会人とは

## 1 社会人としての心構えについて

仕事をするうえで、周囲から信頼を得るためのポイントを4つ挙げてみましょう。

①

②

③

④

## 2 社会人としての役割

社会人として期待されている役割を3つ挙げてみましょう。

①

②

③

## 3 仕事の考えかた

「仕事」の考えかたとして、正しくなるように空欄を埋めてみましょう。

社会人は、給与を得ている時点で（ ）が発生する。

しっかりと業務を行い、成果を上げることでその人だけでなく会社の（ ）も向上する。

